

【お知らせ】

ギャング書き込みで量産書き込み効率向上！
フラッシュメモリプログラマ PG-FP6 のご紹介

概要

フラッシュメモリプログラマ PG-FP6 の新機能「ギャング書き込み」についてご紹介します。ギャング書き込みにより複数マイコンへの同時書き込みができ、書き込みラインの生産性が向上できます。

1. 製品の概要

フラッシュメモリプログラマ PG-FP6 は、ルネサス製フラッシュメモリ内蔵マイコンに対しユーザシステム上で、プログラムの消去、書き込み、ベリファイを行うためのツールです。

PG-FP6 は、「書き込み速度の向上」「フラッシュメモリの大容量化への対応」などを、従来品の PG-FP5 よりも強化しています。PG-FP6 製品には PC 上で PG-FP6 をコントロールするプログラミング GUI「FP6 Terminal」が含まれています。

PG-FP6 の詳細は、以下の URL をご参照ください。

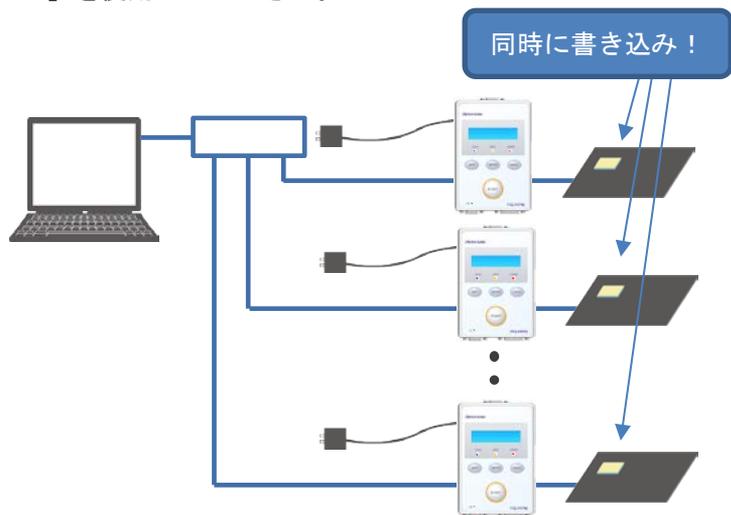
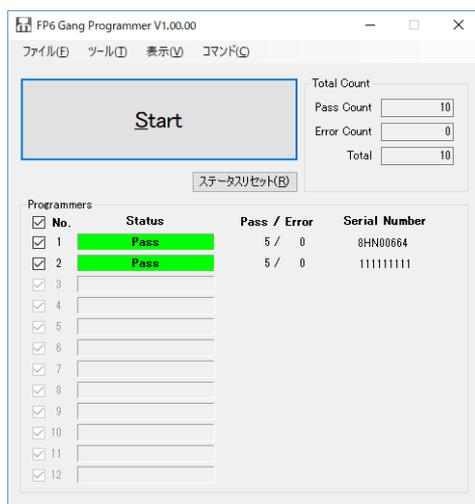
<https://www.renesas.com/pg-fp6>

2. ギャング書き込み機能

2.1 複数のマイコンの同時書き込みで生産性を向上

以下の図のように最大 12 台の PG-FP6 を接続して同時書き込みができます。これにより、書き込みラインの生産性を向上することが可能です。

ギャング機能を使用される場合、プログラミング GUI「FP6 Terminal」V1.03.00 から追加されています新プログラミング GUI「FP6 Gang Programmer」を使用してください。



プログラミング GUI「FP6 Gang Programmer」

GUI 上の「Start」ボタンを押すと複数の PG-FP6 が同時に書き込みを行います。
各 PG-FP6 の書き込み状況やパス/エラーを GUI 上で確認できます。

2.2 特長

- 大量書き込みの時間を短縮
1 台の PC で最大 12 台の PG-FP6 を制御して同時に書き込みできるので、大量書き込み時の時間短縮が可能です。
- 簡単セットアップ
1 組の設定ファイルとプログラムファイルを複数の PG-FP6 へ同時にダウンロードできるのでセットアップが簡単です。
- 一括管理
各 PG-FP6 の書き込み状況やパス/エラーが GUI 内で一目瞭然です。また、各 PG-FP6 の実行結果を 1 つのログファイルに保存できるので、問題発生時に簡単に確認することが可能です。

3. PG-FP6 の購入方法

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業または特約店までご連絡ください。

価格についても同様にお問い合わせください。

製品名：フラッシュメモリプログラマ PG-FP6	
仕向け地域	発注型名
日本	RTE0T00001FWRJP000R
欧州、アメリカ	RTE0T00001FWREA000R
中国、香港、台湾、韓国、シンガポール	RTE0T00001FWRAS000R

注意 1. 各国で規制が異なるため、仕向け地域以外への販売はできません。

例：日本国内では欧州、アメリカ向け製品は購入できません。

ご使用になる地域のルネサス販売よりご購入をお願いいたします。

2. 上記以外の地域については、ルネサス エレクトロニクス販売担当または特約店までお問い合わせください。

3. PG-FP6 には、仕向け地域の規格およびプラグ形状に適合した電源アダプタを同梱しています。

詳細は以下をご参照ください。

<https://www.renesas.com/pg-fp6>

電源アダプタ

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Mar.16.19	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。